

産地の現状訴え

三重・伊勢
JA伊勢 県議が子会社視察



県議らに夏秋イチゴの生産状況について説明するあぐりん伊勢の担当者

【三重・伊勢】JA伊勢は9月下旬、三重県議会議員食料自給総合対策調査特別委員会の視察を受け入れた。議員12人と県、同JAの役職員が参加した。同JAの西村隆行組合長は「管内では多種多様な農畜産物が栽培されている。意見交換会では、産地の現状を率直にお伝えしたい」とあいさつ。同JAの子会社「あぐりん伊勢」の新規就農支援や土地の有効活用を取り組み、産地の現状につ

いて同JAの担当者が説明し、議員らと意見交換を行った。

また、同社のハウスでは、今年産から栽培を始めた夏秋イチゴの生産状況などについて紹介した。

同委員会は、食料自給率の向上に向けた総合的な対策について調査を行うことを目的に活動している。